



# 神奈川ネット 市政報告

No.125 発行日:2020年2月5日



市議 山崎さゆき

<http://yamazaki.kanagawanet.jp/>



市議 くにかね久子

<http://kunikane.kanagawanet.jp/>



市議 布瀬めぐみ

<http://fuse.kanagawanet.jp/>

## 大型台風時 保育園 事前の安全対策

令和元年の大型台風や豪雨は大きな被害をもたらしました。今後も気象災害の増大が予想されるなか0歳児も通う保育園の休園など、事前の安全対策が求められます。

くにかね久子 (大和市議)



大和市の「命を守る対策」  
市は、台風15号による千葉の被災状況を踏まえた事前対策、職員の動員など体制を整え、4日前からPSメール、SOS支援アプリなどで市民に事前の注意喚起を行いました。  
当日は、朝から避難する住民が相次ぎました。深見小学校など収容人数を越えた避難所もありました。今後も県内での被害や他の地域での事例を踏まえ、防災、減災対策の充実が望まれます。

### 学校や幼稚園は休み

台風19号の時は土曜日でしたが、台風15号は平日だったため、学校は臨時休校しました。

学校が休校にできるのは、学校教育法施行規則第63条等の規定に基づき、臨時に「授業を行わないことができる」とされているからです。幼稚園も、幼稚園と保育園が合体した「認定こども園」も規則の準用により臨時休園ができます。

一方、保育園には自然災害発生時などに臨時休園を定めた法令や通知がないことから、台風15号の際は電車が止まり、学校も休校になりましたが保育園は基本的に開いていました。

### 市内の保育園の臨時休園

台風19号時に市は認可権者である県に臨時休園の実施について判断を求めましたが、県の見解はなかなか示されませんでした。

前日によく、「保護者の理解を得たうえで、保育所等を利用する児童がいない場合に限り、臨時的に休園することができる」という見解が示されました。

当日は市内の保育園48施設のうち39施設が臨時休園となりました。電車は計画運休しましたが、公立保育園4施設と民間保育園5施設が開園し、計17人の児童を預かりました。

### 市はガイドラインの策定を

市は待機児童0とするため、保育園を増やしてきました。つくるだけでなく、保育園や園児・保護者の安全対策についても責任をもってあたらなくてはなりません。

厚生労働省は、園長や自治体等の

判断で臨時休園を行うことができるとしています。

市は、方針を決めることができるのですから、臨時休園について独自のガイドラインを策定すべきです。

### 拠点となる保育園が必要

台風や豪雨の時でも、職場に駆けつけなければならない保護者は保育を必要としています。非常時においても保育の受け皿を確保することは重要です。しかし、保育園や園児、保育士の安全確保も重要です。

12月議会の一般質問では、ガイドラインの策定と災害時に拠点となる保育園の開設を求めました。今回の一般質問を受けて、市は

「保育所は保護者が就労などの理由により保育を必要とする児童を預かる役割があり、臨時休園の判断は慎重に行う必要がある」としながらも、「臨時休園の基準などを定めたガイドラインの策定を進める」と答弁しました。

一時的に児童を集約して預かる仕組みは必要であると認識し、施設間における児童の情報共有や具体的な運用方法などについて今後、研究していくとのこと。

ガイドラインの策定には、保育園の運営者だけの負担にならないように支援すべきです。今後も市の動きを注視していきます。

◇12月議会では、ほかに「大和市の平和政策と平和教育について」を質問しました。

◆くにかね久子の一般質問はホームページでもご覧になれます。こちらのQRコードからお入りください。



### 提案しました

### 「気候非常事態宣言」

山崎さゆき

台風15号、19号の被害は、地球温暖化の影響が身近に迫ってきたと感じさせるものでした。温暖化をくい止めるには、科学者の声に耳を傾け、国際的に取り組みを行うことが必須です。しかし、アメリカや日本は取り組みに消極的です。

自治体レベルでは、市全体で環境問題に取り組む姿勢を見せ、一人ひとりの市民に地球環境に対する配慮と行動を呼びかけることが大切です。

神奈川ネットは「気候非常事態宣言に関する決議」を12月議会にて提案し、全員賛成で採択されました。

世界では既に1000を超える地方自治体が「気候非常事態」を宣言し、包括的な行動計画を立案し実施していますが、日本ではようやくその動きが始まったばかりです。今回の決議は、大和市でも「気候非常事態宣言」を行うなど、国際基準を踏まえた取り組みを推進するよう求めたものです。節電する、省エネ製品を使う、再生エネルギーにより電力を供給している会社から電気を買うなど、温暖化の防止のために一人ひとりができる対策はたくさんあります。

神奈川ネットはこれからも市民の小さな努力が生きるような政策を提案していきます。

決議の全文は、こちらのQRコードからお入りください。

